

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2016.12.No232

12月号

目次

第41回 (一社)北海道建築士会 全道大会(室蘭大会)を終えて……………	1
特集 第41回一般社団法人北海道 建築士会全道大会(室蘭大会)……………	2
青年・女性の怒……………	6
[No.79 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break……………	7
information……………	8

URL <http://www.h-ab.com/>



第41回 (一社)北海道建築士会全道大会(室蘭大会)を終えて

第41回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

一般社団法人北海道建築士会 室蘭支部 支部長 半崎敏裕

北海道建築士会全道大会(室蘭大会)を、無事に終える事が出来ました。ご来賓、そして全道32支部の皆様、本部の皆様、本当にありがとうございました。そして、誰よりも、室蘭支部実行委員の諸君には、1年前からの準備、仕事で疲れた後の会議、打合せ等々、頭の下がる思いでした。高野会長他、本部の皆様の終了直後の労いの言葉に、室蘭支部メンバーはほっとしている次第です。

テーマ「鉄と湯けむり、大地のめぐみ」

サブテーマ「西いぶり共生の未来」

室蘭大会は3度目の今回、西いぶりという広域でテーマ他を考えようという事で、随所に表現させていただきました。少子高齢化という大きな社会現象の中で、隣町その又隣町と広域連携が必要とされる時代を迎えた今、共に生きる事が今後の大きな課題となるでしょう。

又、大会を通して、準備の時から青年部員が少なく、心配する場面もありました。士会の会員拡大は永遠のテーマですが、とにかく今回は早急に手を打たないとならないと思った次第です。室蘭支部は恵まれている方ですが、小さな支部ではますます支部を維持する事が大変になっております。但し、建築士の仕事なくなる訳ではありません。

青年サミットと懇親会で私は、全道大会は町のお祭りだと言いました。年に一度、同じ志を持ったものが一同に集い、酒を酌み交わし語り合う。準備する方は大変ですが、準備する支部もメリットはあります。大会を終えた後の達成感、又、仲間と協力する意義等々、お祭りは若者も好きでしょう。楽しかったら入会もするはずです。そんな話を、ブロック会議等で今まで以上に話し合う必要に考えさせられた大会でした。

基調講演をいただいた坪川監督には、テーマに西いぶりの言葉を使っていただき、室蘭や西いぶりの風景をスクリーンに写され、監督自身も古建築に大変興味を持ち、仕事の一部としている事に、会場の皆さんも興味を持って、講演を聞いていただいたと

思っております。

まだ終了後の直会は終わっていませんが、室蘭支部として、大変な時もありましたが、本部の指導を受け、全道の皆様の協力をいただき、無事に終える事が出来、室蘭支部にとってそして、実行委員一人一人達成感を味わい、支部会員同志、よい体験が出来た事でしょう。

終わりに、北海道建築士会のさらなる発展を祈念し、御礼の挨拶とします。



大会式典 高野大会長挨拶



基調講演 映画監督 坪川拓史氏



青年サミット会場 室蘭建設会館



青年サミット 趣旨説明



青年サミット 工場見学



A分科会 (女性委員会)



A分科会 ホタテ漆喰を体験



B分科会 (まちづくり委員会)



式典・講演会会場 蓬峯殿



青年サミット 市内見学



青年サミット 懇親会



B分科会 パネラーの皆様



C分科会 (青年委員会)



C分科会 HUG



受付

第41回一般社団法人北海道 建築士会全道大会 (室蘭大会)

大会テーマ:「鉄と湯けむり・大地のめぐみ」～西いぶり共生の未来～
 青年サミットテーマ:「鉄のまち室蘭からものづくりの原点を感じる」
 2016.9.30 10.1 式典・基調講演会場: 蓬峯殿 青年サミット会場: 室蘭建設会館



式典の様子



綱領朗読



高野大会長 挨拶



半崎実行委員長 挨拶



鏡開き



各支部からのお土産



懇親会



会長表彰 受賞者の皆様



基調講演 映画監督 坪川拓史氏



講演



余興



抽選会



次期開催地アピール (後志支部)

分科会報告

A分科会

素材～天然素材のほたて貝
女性委員会～西いぶり編

女性委員会 委員
稲場めぐみ (室蘭支部)



『ほたて』と聞いて、何を思い浮かべますか？お刺身に珍味、BBQ…どれも魅力的ですが～

A分科会では、ここ数年継続して取組んでいる「素材」の中から、道内で多く産出され、食用後に廃棄される「ホタテ貝殻」を活用した「ほたて漆喰」を取り上げました。42名の方にご参加いただき、自然の恵みを建築に活かす方法、北海道における地材地消について考える2時間となりました。

分科会前半では、ほたて漆喰を開発・製造・販売されている伊達市の「あいもり株式会社」代表取締役 小松幸雄様より、ご講演をいただきました。ホタテ貝殻は、抗カビ性、抗収縮性、調湿性等に優れた材料であることなど、その素材の特性について学ぶことができました。また、湿式外断熱工法の開発により、道内で外装材としての普及が進んでいることも知ることができました。

分科会後半では、実際に漆喰を練り混ぜ、普段触れる機会の少ない左官道具コテを使い、漆喰を塗り付けるといった体験会を開催しました。ざらっとしているけれど、滑らかでもある、味わい深い質感を肌で感じる貴重な体験となりました。残念ながら、味覚の体験はできませんでしたが(笑)

参加者の皆さま、関係者の皆さま、ご協力ありがとうございました。



A分科会 ホタテ漆喰塗りを体験

B分科会

歴史×観光×ものづくり
～室蘭のまちづくりから学ぶ～

まちづくり委員会 副委員長
浅沼 直樹 (札幌支部)



B分科会では前半に室蘭の街の紹介動画の上映を行い、続いて「歴史・観光・文化」の視点から室蘭でご活躍されている3名(白川皓一様、仲嶋憲一様、三木真由美様)のパネリストの方々からまちづくり活動の発表を頂きました。お一人10分という短い時間でしたが、素晴らしい活動内容を聞く事が出来て、室蘭の街を知ることが出来たと思います。

後半はパネリストから「建築士に聞きたい質問」と「まちづくり活動の悩み」をアンケート形式で参加者に回答頂き、その内容を基にパネルディスカッションを行いました。「建築士に聞きたい質問」では ①観光施設に行った時チェックするポイント? ②室蘭の古い建物を見て感じたことは? ③あなたの地域で「まちづくり」にどのように関わっているのか? という内容です。これには建築士らしい回答を多く頂きました。次の「まちづくり活動の悩み」では ④一緒に活動する若いメンバーの増やし方? ⑤「まちづくり」活動している他団体との連携を取る方法? ⑥企業に依存しない「まちづくり」をする為には? という内容です。この悩みでは我々建築士会にも共通した部分もあり、パネリストと共に共有出来たと思います。

今までは鉄のイメージが強い工業都市の室蘭でしたが、今回の分科会で自然・夜景・歴史・文化など新たな発見が多くあったのではないのでしょうか。そして室蘭を愛する方々を知ることによって、我々建築士が各々自分の地元で「まちづくり」にどう向き合うべきか参考になったと思います。参加人数は61名でした。

C分科会

HUGから学ぶ

青年委員会 副委員長
工藤 誠 (函館支部)



C分科会は、「避難所運営ゲーム(HUG)を通して、建築士の役割を考える」と題して、実際にHUGを行い、避難所で起こるであろう様々な問題について、ゲームを通して模擬体験しました。

避難所にやってくる様々な人々(足の不自由な人、妊娠している人、咳をしている人、日本語が話せない外国の人など)を避難所(学校)のどこに配置するか、避難所を運営する立場で進めて行くこのゲーム。一見簡単なようですが、避難者の気持ちや状態を考え、適切に配置して行くのはなかなか難しいものです。

ゲーム終了後には、10個の項目について対応出来ているかの確認を行いました。①避難所内の通路の確保 ②衛生面の配慮 ③プライバシーの確保 ④明るさの確保 ⑤暖かさの確保 ⑥社会的弱者への配慮 ⑦文化・慣習の違いのある方への配慮 ⑧被害状況の違いのある方への配慮 ⑨物資などの状況の把握 ⑩避難生活の長期化への配慮。

そして、これらに対応する上で、建築士として地域の一員として何が出来るのか意見交換をしました。例えば避難所にあるもので衝突を作り、適切に間仕切ることでプライバシーに配慮した避難所にすることができるのではないかと。また災害前の今、地域の人々にHUGを広めることで、防災意識を高めたり、地域の人々の繋がりを深めたりできるのではないかと様々な意見が挙がりました。

災害時速やかに適切な行動を取るためには事前のシミュレーションが必要です。この分科会がその一助になればと思います。

情報委員会報告

今年も号外を発行！

情報委員会 委員長

早川 陽子 (小樽支部)



今年で「号外」は3年目となり、3作目を発行しました。

最初に室蘭支部の皆様のご協力に感謝いたします。

今号は委員会のテーマ「室蘭、MURORANの再発見」の視点から3分科会と青年サミットを取材し、懇親会で配布。出席の皆様から多くの反応がありました。

え～っ！どこで書いてたの？

前から出来てるんでしょ。

今年はHUGあったんだね。

写真いい雰囲気～。

号外～号外！配ると気分UP。

来年もあるのかな…等々。

号外の編集局は、蓬峯殿の食堂。記事は各分科会の取材担当者を決め、約2週間前に荒原稿を作成します。当日は2人1組で進行の確認と写真撮影、講師や参加者へのインタビューが中心ですが、今年は体験型の分科会があり、取材者も体験することで会場の雰囲気を伝えたつもりです。

このように書く余裕に見えるかもしれませんが…実際は！締め切り＝原稿を印刷会社に送る1時間前は1台のパソコンを前に名前と数字のチェック、文字数が多いよ～、どっちの写真がピタリかな、レイアウトはいい？皆が最も緊張する時間でした。

来年は後志。「号外」楽しみに！



出来たての号外を手に、「今年も出来た～！」左より久島理事、岡本さん、編集委員の皆さん

青年サミット報告

サミットを終えて

青年委員会 委員

渡辺 淳 (室蘭支部)



全道大会(室蘭大会)に先立ち、9月30日に青年サミットが室蘭建設会館にて行われました。青年サミットテーマは『鉄のまち室蘭からのづくりの原点を感じる』を掲げ、例年行われておりましたが、ワークショップなどを行わず、新日鐵住金(株)構内を見学及び室蘭市内の見学を行いました。

構内見学では、鉄鋼石から鉄を取り出す工程や、鋼材を伸ばす工程を見学する事が出来ましたが、残念ながら溶けだした鉄が流れているシーンや、真っ赤に熱せられた鋼材を伸ばしているシーンはタイミングが合わずに見る事ができませんでした。続いては、めずらしい円形校舎の旧絵鞆小学校を車中からではありますが見学をし、室蘭の白鳥大橋や工場群などの景色が一望できる絵鞆公園展望台へ行きました。室蘭支部として一番の懸念事項でありました天候も非常に恵まれ見学コースを廻る事ができました。

その後に行われました懇親会では室蘭やきとりを食べていただき、サミットの原点であります支部を越えた仲間づくりが行われていたと思いました。

100名を超える参加者のご協力もあり無事にサミットを終える事が出来ました事を心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



白鳥大橋をバックに全員集合

全道大会実行委員会報告

西いぶりのまちで…
「室蘭大会を終えて」

大会統括部長

市橋 隆 (室蘭支部)

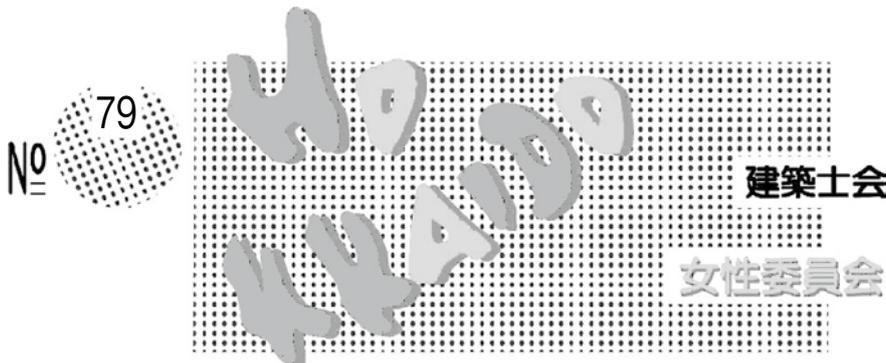


昨年5月末に実行委員会を立ち上げ、最初の作業となる大会テーマの作成では、支部会員が居住する地域の「西いぶり」に着眼し、支部会員が一丸となり準備を進めて参りました。

今年2月頃より各支部が本格的な作業に取り掛かり、実行予算・協賛会社への寄付依頼、本部事務局・分科会担当との事前会場打合せ、大会参加申込み用プログラム・地元来賓者名簿・大会ポスターの作成、7月に入り機関紙北海道建築士発行による、8月末日メ切とする大会参加申込案内が配布され、大会参加者名簿の到着をお待ちしておりました。

いよいよ9月に入り大会参加者が確定し、大会リーフレット・各会場レイアウト・配膳・進行シナリオ等に於ける本部との調整を行いながら準備を致しました。

大会前日の青年サミットでは、鉄のまち室蘭を代表する工場見学等をされ、大会の分科会では、西いぶり地域の天然素材、歴史、観光、もの・まちづくり等について熱心に討議され、基調講演では、映画監督、坪川拓史様から「西いぶりの魅力を世界に発信すべく」と熱い思いを語る講演を頂きました。懇親会での料理、余興はどうでしたか、また、各支部からは沢山の提供品を頂き、より美味しくより楽しく懇親会を行なうことができました。大会実行委員会として、感謝申し上げます。



女性建築士の集いin室蘭2016
 ~室蘭の歴史的建造物を見学しよう!第2弾~

林 和恵 (北見支部)

10月2日(日)全道大会「室蘭大会」の翌日 JR室蘭駅に集合!

市民団体「蘭歴建見会」の代表でもある室蘭支部の吉田幸恵さんのご協力をいただき、室蘭工業大学助教 武田明純先生の解説で、総勢30人、まち歩きをSTARTしました。

当日は風も穏やかで、とても良いお天気に恵まれました。

古いまち並みが残る旧アーケード街の建物の解説を聞きながら、ゆるやかな坂を登って行くと見学先の一つである「蕙山苑」があります。明治42年栗林商会の創業者栗林五朔氏が本宅兼迎賓館として建設。新潟から宮大工を呼び寄せ、釘を一本も使用せず入念に仕上げがなされ、100年経った今日でも寸分の狂いもないそうです。

大広間の縁側の丸桁は27mに及ぶ杉の一枚板で、その下に収まった格子窓は手延ベガラスが使われていて、少し歪んだガラス越しに見える庭の木々は湖水に写った景色のようでとてもステキでした。増築された部分には、ルネッサンス風の応接室があり、その横の広縁にはライオンの吐出し口の壁泉もありました。当時は壁泉の水の音を聞きながらお庭を眺めていたそうです。優雅ですね。

外に出ると良く手入れされた広大な庭園にコケが生し、ふかふかのジュータンの上をはだして歩いているような踏み心地で坂道を歩い

て疲れた足にとっても優しくかったです。

建物をよりよく保存するために約200坪の建物を女性が一人で十数年住み込みで維持管理されているそうです。一人でご苦労ありませんかと尋ねたところ、ここでこうして生活させてもらっているのがとても幸せです。とおっしゃっていたのが印象的でした。

ふだん一般公開されていないので、貴重な経験をさせていただきました。

坂道を下って行き、次は車に乗り合わせ、昨年閉校になった「旧絵鞆小学校」を見学。特徴である円形校舎は狭い敷地に少ない建築材料でより広い床面積を建築できる経済性の高いデザインで、戦後復興期に全国各地に建設されましたが現存は希少となり、現在東棟は教育機関として活用され、保存されることとなりましたが、3階に体育館のある特徴的な西棟も合わせて、2棟の保存活用を求める署名を呼びかけているそうです。2棟じゃないとメガネ型にならないので是非残してほしいですね。

また、ドラマのロケ地としても注目され、現在撮影中の室蘭を舞台にした映画「モルエランの霧の中」にも撮影が予定されているそうです。上映が楽しみです。



旧 絵鞆小学校 正面玄関前にて

「建築・インテリアのプロが描くスケッチパース」講習

富永 初穂 (札幌支部)

ささっとパースを描きながら、お客さまと打ち合わせ。そんな建築士に憧れていたはずなのに、描けなくても何とかなってしまうながら、これまでやって参りました。

心の底にくすぶる、そんな憧れと現実の乖離に向き合うべく、9月3~4日「建築・インテリアのプロが描くスケッチパース」講習に参加させていただきました。

講師の飯田公久先生は、長年インテリアデザインの分野でご活躍されており、作品集はさすがの一言。憧れと不安でドキドキです。



先生の実演に真剣な眼差しを受講生たち

初日にまず教えていただいたのは、私たちは意外と対象物をちゃんと見ていないということ。先入観をなくして、穴があくほど見つめて描けば...!秘伝の彩色術も教えていただき、二時間で魔法のように上達した自身のスケッチを見て、教室中が喜びに沸きました。

2日目は主にパースの練習。二点透視と聞くと難しそうですが、基本は立方体の組み合わせ。立方体の書き方を覚えて、それを展開させていく...。ちょっと練習が必要ですが、パースには「書き方のルール」があることがわかり、この2日間でなんだか上達への道が見えた気がしました。

手を動かしながら、短時間で上達を実感でき、楽しくてあっという間の2日間でした。こんな素敵な機会を、本当にありがとうございます。また次回、初級者編?も期待しています!

上富良野支部 建築士会に入り1年、思うこと



青年部
木津 雅貴

私の自己紹介をさせていただきますと、文系の大学を卒業し畑違いの分野から家業を継ぐために地元に戻り、汗水流し、時には痔にもなり7年、やっと2級建築士を取ることが出来、晴れて昨年からは建築士の仲間入りをさせていただくことが出来ました。

建築士になるやいなや、地域のコミュニティで親交が厚かった地元の建築士の先輩TさんとKさんに何も知らされず、半ば無理やりブロック協議会など他地域の建築士の方々との交流の場に参加させられ、人見知りな性格もあり、会が始まるまでは陰鬱な気分での参加でした。

いざ会が始まり懇親会に移ると、出席されていた

道北ブロックのみなさんのキャラクターが、それぞれ多方面にわたり際立っており、とても得がたい経験をさせていただきました。会議での協議内容は頭に残ってはいませんが、その後の親睦会での先輩方の含蓄のある下世話な話は私の心に深く刻まれました。またみなさんに会いたいと思うことが出来る、素晴らしい会合に参加出来るというチャンスがあることに、ただただ感謝する気持ちを今は抱いています。僭越ながら道北ブロック協議会に参加された方々を心の中で友達認定させていただいた事をここで報告させていただきます。

人との付き合いは難しいことや、うまくいかないことも多いですが、その一方でこのような素敵な出会いがあり、私自身も活発に未知なることに挑戦を行うことへの意義を道北ブロック協議会に参加することを通して感じさせられました。

網走支部 ものづくりのプロは、雪像づくりもプロなのか？



青年副部長
鴻巣 大輔

『流水のまち・あばしり』で毎年2月に開催される冬の一大イベントあばしりオホーツク流水まつり。メイン会場には各団体が作るたくさんの雪像や氷像が来場者を迎えます。雪像づくりは初めてですが、ものづくりならば！と雪像づくりに挑戦しました。

会場は網走港埠頭で、仕事終わりの冬空の下、海からの冷たい北風に吹かれながら、JR観光列車流水ノロッコ号の雪像を制作しました。雪像づくりは自分たちで足場・型枠を組み立て、そこに雪を入れて大きな雪の塊を作り、削り出すという作業です。さすが建築士、足場の組み立てが早い！

建築士ならではの正確さを追及しようと、事前に模型を作り、現場ではレーザーや定規を使って墨出ししました。しかし、そんな準備も虚しく、大きく真っ白な雪像には、正確さよりも大胆に削り出した方が、凹凸がくっきりして迫力があると気付いたのです。周りの方たちからすれば道具を持ち込んで何をしているのかという感じだったでしょう。

最後は細かい部分を丁寧に仕上げ、初挑戦ながらも満足のいく雪像が完成しました。やっぱりものづくりって楽しいですね。



雪でできた流水ノロッコ号

ご報告

熊本地震発生に伴う当会会員（木幡正和さん（恵庭）、三嶋克昭さん（日高））による応急危険度判定業務をたたえられ、北海道建築士会が国土交通省第28回住生活月間功労者住宅局長感謝状を受賞しました。

平成29年 専攻建築士登録申請受付のご案内

？ 専攻建築士になるには・・・(新規認定の要件)

- ・「CPD」を行っており、過去1年間（平成28年1月～12月）に12単位を取得している
- ・建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が5年以上ある
- ・「当該領域の責任ある立場での実務実績」（要第三者による証明）が3件以上ある

※構造設計・法令専攻建築士は、一級建築士を要件としております。

◆専攻建築士認定申請について

- 〈受付期間〉平成29年1月4日～2月28日（当日消印有効）
- 〈申請書〉北海道建築士会HPよりダウンロードできます。
- 〈申込〉申請手数料（審査手数料・登録料）の振込控えを申請書に添付して北海道建築士会へお申込みください。

◆専攻建築士更新認定申請について

既に、対象のみなさまへは、更新申請についての案内を送付しております。該当の方で届いていない方がいらっしゃいましたら本部事務局までご連絡ください。(011-251-6076)
～「専攻建築士制度」とは、消費者に対して専門家として社会に責任の取りうる業務領域（専攻専門領域）を認定・登録し社会に示す制度です。*詳細は(公社)日本建築士連合会HPをご覧ください。

CPD認定プログラム(11月認定)

◆平成28年度BIS更新講習会

《日程及び会場》 1月20日(金) 9:00~12:00
フォレスト仙台(仙台市)

《単位数》 3単位

《問合せ先》 (一社)北海道建築技術協会
TEL 011-251-2794

◆建設工事に伴う労働災害・環境・公害防止講習会

《日程及び会場》 1月19日(木) 13:30~17:00
北海道建設会館(札幌市)

《単位数》 3単位

《問合せ先》 (一社)日本建設業連合会北海道支部
TEL 011-261-6245

道士会の動き

道本部の主な会議報告(11月)

◆第2回青年委員会WEB会議

《開催日》 11月5日(土)

- 《議題》 1) 平成28年度事業報告
2) 平成29年度事業計画案について
3) 平成29年度予算案について
4) その他(連絡会議・集いについて)

◆第3回被災地応急支援委員会

《開催日》 11月11日(金)

- 《議題》 1) 平成28年事業について
2) ネットワークの登録増強と整備について
3) 各自治体と支部の「災害時応急危険度判定活動連携協定」推進について
4) 訓練について
5) 平成29年事業計画について
6) その他

◆第3回総務委員会

《開催日》 11月12日(土)

- 《議題》 1) 平成29年事業計画及び収支予算(案)について
2) 第62回建築士会全国大会北海道大会について
3) 報告:熊本地震被災地への義援金について

◆第3回「建築士による住教育出張講座」運営委員会

《開催日》 11月12日(土)

- 《議題》 1) 住教育出張講座に関するアンケート(高校配布用)
2) 建築士会各支部における開催可能な住教育活動調査
3) その他

◆四役会議

《開催日》 11月30日(水)

《議題》 1) 平成28年第4回理事会の議案について

関係機関等会議参加予定(12月)

2日 CPD・専攻建築士制度委員会 高野会長出席

道本部の主な行事予定(12月)

《開催日》 12月9日(金) 第5回理事会

《開催日》 12月10日(土) 第2回情報委員会

《開催日》 12月17日(土) 第3回女性委員会

12月開催講習会のお知らせ

・応急危険度判定士認定講習会 ・監理技術者講習

12月2日(金) 浦河町 12月16日(金) 札幌市

12月7日(水) 帯広市

北海道と建築関係7団体の意見交換会開催

平向住宅局長、長浜建築局長をはじめ道庁幹部の皆様の出席のもと11月2日開催されました。

平向住宅局長、高野会長の挨拶の後、北海道から建築基準法改正後の動向、営繕行政について説明がありました。

北海道との意見交換のなかで、本会からは、プロポーザルでの専攻建築士などJ5認定資格が表記されたことへのお礼と引き続きCPD制度活用への配慮をお願いし、また、監理技術者講習の開催について説明し理解を求めました。

事務局からお礼

・11月会誌送付支援隊

吉木副会長(会誌送付支援隊責任者)

柳山 美保子 様(札幌支部)

森田 ゆう子 様(札幌支部)

川原 昌彦 様(札幌支部)

ご協力誠にありがとうございました。

※P7 笠原爺イの釣り日誌はお休みします。

【国税広報参考資料】

お知らせ 申告書や申請書等にはマイナンバーの記載が必要です!!

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に伴い、

申告手続などには
マイナンバーの記載
+
本人確認書類の提示又は写しの添付
が必要です

国税に関するマイナンバー制度の最新情報は、
国税庁ホームページへ www.nta.go.jp

～本人確認書類～
◆マイナンバーカードをお持ちの方
マイナンバーカードだけで、本人確認が可能です。
◆マイナンバーカードをお持ちでない方
(番号確認書類として)
●通知カード
●住民票の写し又は住民票記載事項証明書
(マイナンバーの記載があるものに限りです。)
などのうちいずれか1つ
(身元確認書類として)
●運転免許証 ●公的医療保険の被保険者証
●パスポート などのうちいずれか1つ

編集後記

7月1日は『建築士の日』。では、12月12日は何の日? 答えは「1(いい) 2(じ) 1(いち) 2(じ) =いい字一字」の語呂合わせから『漢字の日』だそうです。と言うより『今年の漢字』が発表になる日と言ったほうが分かりやすいでしょうか。ちなみに、昨年は『安』、一昨年は『税』。先日、俳優の渡辺謙さんは、今年1年間を振り返って、『驚』という字を選んでいました。みなさんは、『今年の漢字』何だと思いませんか?

情報委員会 森 勝利(日高支部)

情報委員会委員長/早川 陽子
副委員長/斎藤 勝哉・高松 徹・森 勝利
委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人
柏倉 晶憲

北海道建築士 No.232号

印刷 平成28年11月/発行 平成28年12月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番